



第25号 (年1回発行)

発行所

〒100-8402 新宿区新宿6-1-1  
東京医大看護専門学校  
同窓会

03-3351-6141(内310)

東京医科大学看護専門学校  
同窓会郵便振替  
口座番号 00120 118268

# 同窓会便り

## 新役員 副会長挨拶

### 苦楽を ともにした友

内田幸子 (看15)  
(旧姓 河西)



同窓会の皆様、こんにちは！

最近の異常気象により災害が起こると同級生のことが心配になります、皆様のごところに被害はないでしょうか？

中川副会長よりかわり、

副会長になりました。より良い同窓会になるよう努力したいと思えます。力不足とは思いますが、よろしくお願ひします。

今の学生さんには寮が無いと聞きました。残念ですよ。

看護学校の3年間は思い出深いものであり、苦楽をともにした生活は、今の自分に大きくプラスになっていると思えます。寮生活懐かしい5円を入れて使ったガス、テレビのない生活お風呂の入り方、大学近くのハムカツ、実習でつらい日々もみんなで過ごして乗り切ったこといろいろ思い出されます。

私は15回生の同窓会のみ

## 新師長

長谷川知子 (看19)

同窓生の皆様、そして19回生の皆さん、大変にご無沙汰しております。このようなコーナーに登場するのは、夢にも思っていなかった長谷川知子です。

就職して25年目の春、18階東棟に異動と同時に師長となりました。部長さん副部長さんを始めとした多くの先輩師長さん方とス

## 新役員 会計係

那須淳子 (看25)



同窓生の皆様こんにちは。4月より会計係となりました25回生の那須です。

タッフに助けられながら、暗中模索と試行錯誤の毎日を送っています。

「何事も経験」とは思っても、やはり初めての事の連続には知らず知らずのうちに眉間にシワがより、眼が笑っていない自分を自覚する事も多い日々です。それに気付いて、一人で苦笑と、ちよつと挙動不審かも。

やつと「師長さん」と呼ばれる事にも慣れ、捺印時や様々な書類のサイン欄に「代」の字を書いてしまう事も無くなりましたが、まだまだ失敗も多い学びの日々です。いつも笑ってばかりいられませんが、キリキリせずに患者さんとスタッフを守りつつ病院経営に参画できるよう、そして自分を客観的に評価して成長していけるよう、これからも努力していきたいと思えます。

最後になりましたが、19回生の皆さん！お待たせしました！！

現在、平成22年の6月くらいを目処に『卒後25周年のクラス会』を計画しています。それぞれの場所で開催している、沢山の懐かしい顔に会える事を、楽しみにしています。

## 新主任

澤田育子(看22)



この新聞をご覧になっている同級生の皆さんは、「なんで東医に在るの?」と思っ

ているのではないのでしょうか?  
東京医大病院12階西病棟に8年間お世話になり、実家のある八戸で臨時職員として日赤病院に2年半勤務

し、その後透析クリニック勤務を経て平成17年に東京医大に再就職させていただきました。8階、12階西では、指導係として、今年から集中治療室で主任として働いています。環境に順応するには困難と苦痛が伴いますが、再就職の際、入職当初直属の上司であった森川部長から「人生の中でチャンスというのはそうちよくちよく訪れるものではないのよ。流れに乗ってみるのもいいんじゃない?人と人のつながり、縁は大切なものよ。」という言葉を頂き不安から解き放たれた気持ちになりました。先輩方や仲間との出会いやつながりが今の自分を支えてくれているんだなあと感じています。謙虚さを忘れず、平常心でこれからもっと集中治療室が働きやすい環境になるように努力していきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。

## 副学校長就任挨拶

東京医科大学看護専門学校副学校長

峰村淳子(看7)(旧姓 吉田)



同窓生の皆さまこんにちは

は、皆さまには健やかにご活躍のことと存じます。私は、平成18年4月から看護専門学校副学校長として任に当たらせて頂いております。ですが、今までにご挨拶の機会がなくこのような時期になりましたことを紙面を借りてお詫び申し上げます。

伝統ある本校で、浅学非才の私がこのような重責を担って良いものか悩みましたが、恩師、諸先輩、そして同窓生の応援を頂き、お引き受けして早4年が過ぎようとしております。当初

から責任の重さに身の引き締まる思いでしたが、現在までも様々な出来事があり、その度に同窓生や本学職員そして法人他多くの方々の暖かいご支援を頂き、運営出来ましたことを心より感謝申し上げます。

本校は平成22年4月から就任の山科章学校長(東京医科大学第2内科主任教授)、石塚教務主任、他専任教員13名と事務職員4名の職員で現在運営しております。近年の看護大学の増加の影響等もあり、本校の入学生は多様化し年齢層の上昇、男子学生・大卒者・就職経験者・既婚者等の増加傾向もあります。

また看護を取り巻く情勢の大きな変革の波として、本年4月に「保助看法」と『看護師等の人材確保の促進

に関する法律」の一部改正で、看護基礎教育の大学を中心とした教育体系への転換の推進、卒後臨床研修の努力義務化が明示されました。看護基礎教育においては、昨年4月から改正カリキュラムが施行、教育内容の充実と学生の看護実践能力の強化等、より質の高い教育が求められ、統合分野も創設されました。その実践に向けて、看護教員としての専門性や教育実践力の向上、資質向上のための努力をしている所です。幸い本校には、諸先輩の築かれた教師としての研究的活動の土壌が根付いており、次世代を担う学生を育てる立場にいる教師として、教育者としての重要な使命を認識し、教育の原点を見つめながら、本学の教育活動の質の向上に向けて教職員全員が努力してくれております。研究的活動の一つである「紀要」は、本年20周年

誌の発刊となりした。

さて、自主自学の理念のもと本校で学び果立られた卒業生は、現在 3000 名以上になりました。その皆様は全国各地でさらには海外で活躍をされ、社会に大いに貢献されておられることは喜ばしい限りです。

本校は 4 年後には創立 50 周年を迎えます。以前から、同窓や内外からの強い要望として、看護大学化の声がかんがわれております。大学の看護と医療の発展のためにも、社会の動向の波に乗るためにも、私達教職員もこの節目の時にはその願いが実現に向けた形になっていることを思い、折りに触れ関係各所に訴えさせて頂いております。是非、皆さまからのご支援の声もお願い致します。

私自身は、管理職としてはまだまだ修行の身でありますが、私の恩師であり、先代の教務主任であられた

福岡笑子先生・杉浦亮子先生・黒坂知子先生に教えて頂いた沢山のことを心に留め、母校の発展のために自らの使命を自覚し、能力の

## 教務主任挨拶

東京医科大学看護専門学校

教務主任

石塚睦子(看12)



12 回生の仲間と西新宿の病院敷地内にあった学校や寮で 3 年間苦楽を共にし、新卒当時は、今は無き

西館 3 階内科血液病棟に勤務。生死に苦悩する患者さんに接することで自分の生き方を見つめさせられ、先輩・関係職種の人々と協働し、時にユーモアに癒され、振り返れば星の砂ほど学びの多い濃厚な時代を過ごしました。看護学校・看護師

限り微力を尽くす所存です。今後とも皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生活の中で生涯の友にも出会い、看護専門学校に異動して現在に至ります。看護専門学校では、学生を支援してくれる人々の影の力を改めて感じ、意図的教育の大切さを実感しました。今、卒業 32 年が経とうとしていることがまるで夢のようです。

昔に比べると西新宿の土地開発に限らず、看護専門学校を取り巻く社会環境は大きく変化しています。病院は在院日数が短縮化し、看護に求められる社会の期待は増大、看護業務は高度化・拡充するなど忙しく慌ただしい世の中になりました。

た。実習場や本学は歴史もあって学生が学ぶ環境としては恵まれている点多々ありますが、今や全国の大学の看護学科数が 181 校

(2009 年度データ)にもなり、東京医大はその面でも大きく出遅れました。間もなく訪れる看護専門学校創立 50 周年にあたり、大学化が現実的なものとなり、東京医大看護で学ぶ学生達のソフト・ハード面が更に向上し、かつ病院に働く看護師のための卒業教育にも貢献できる場となり、ひいては患者さんへの看護の質を保障することにつながる道が開けることを切に願っています。

このように時代・社会は変化していますが、いつの時代も学生が求める教育には共通点があると思います。学生は、教育する側に対して、解釈・説教をしすぎず自分の話に耳を傾け、学生の反応・個性をとらえ、

受容的、親和的、許容的で、知的、技術力のある人、或いはそうなるように努力する人、厳しくても愛情が感じられる人を求めています。

成長を認めそれを伝え動機づけや効力感を失わない教育、学生の価値観の根幹が崩れない教育を求めています。『三つは易し』で、過去の自分については振り返るべきことが多いのですが、臨床と学校が教育の根幹部分を意識し、多少の枝葉の揺れに動じず、人として、看護師として成長・自立していける学生を育てていきたいいなと考えています。卒業生が、時々学校に寄ってくれますが、それは嬉しいことです。どうぞ皆様近くにお越しの折は、母校をお訪ねください。

※看護専門学校の沿革を図にしてみました。参考にしてください。



図1.看護専門学校沿革

※学校長・副学校長・教務主任の先生方の敬称は略させていただきます。

年	学校長	副学校長・教務主任		学校	備考
		本科・看護科	別科・進学科		
1957-65	昭和32-40	田林綱太	久保田きみ	准看護婦学校	
1964	昭和39	①与謝野光	加藤三千子	東京医科大学 高等看護学校 附属 進学科 課程別科 進学科 課程Ⅱ部 ↓ 進学科	本科定員40名 カリキュラム改正:基礎科目、専門科目(基礎看護学総論、看護技術、小児・母性・成人看護学)
1968	昭和43		上杉栄子		
1970	昭和45	亀川すよ	川口米子		
1971	昭和46		橋本由子		
1974	昭和49	②高橋雅俊	杉浦亮子		
1975	昭和50				
1976	昭和51				
1977	昭和52	岡田宮子	福岡笑子		
1978	昭和53				
1979	昭和54	③長村重之	福岡笑子		
1980	昭和55				
1983	昭和58	④本多輝男	福岡笑子		
1986	昭和61				
1990	平成2	⑤岩根久夫	黒坂知子		
1991	平成3				
1993	平成5				
1995	平成7	⑥伊吹山千春	黒坂知子		
1996	平成8				
1997	平成9	⑦高崎優	副学校長 峰村淳子		
1999	平成11				
2002	平成14	⑧友田輝夫	副学校長 峰村淳子		
2006	平成18				
2007	平成19	⑨勝村俊仁	教務主任 石塚睦子		
2008	平成20				
2009	平成21	⑩山科章	教務主任 石塚睦子		
2010	平成22				
					カリキュラム改正:基礎科目、専門基礎科目、専門科目(老人看護学が独立)
					看護科30周年記念式典 男子学生受入へ 卒業時医療専門課程専門士の称号認可
					カリキュラム改正:基礎分野、専門基礎分野、専門分野(老人→老年看護学へ、在宅と精神看護学が独立)
					看護学生寮東扇山ハイイツ閉寮
					カリキュラム改正:基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱ、統合分野(在宅・安全・災害等) 単位制導入

新教員挨拶

「母校に帰ってきました」

冬木佳代子(看護25)

(旧姓 後藤)

母校である東京医科大学看護専門学校に勤務をして1年が過ぎました。東京医科大学病院を退職してから10数年、教員として戻ることになるとは夢にも思いませんでした。担任であった峰村先生は副学校長に、成人看護学を教えてくださいました。石塚先生は教務主任として活躍されています。学生時代の恩師と同じ職場で働くことに、不思議な運命を感じています。

この1年間で昨今の学生の特徴を知ることができました。大勢では騒がしく、まとまりがないことも多々ありますが、1人1人と話すとそれぞれの魅力にあふれています。新鮮な感性に驚かされることもあり、教えられることがたくさんありました。もちろん未熟な点も数え切れないくらい(笑)ありますが、他者とのかわりの中で「自分」とは何かを振り返ることができることを望んでいます。「人との関わりがいいな」と思える授業や実習ができるように研鑽を積みみたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

# 戴帽式を終えて — 看護師への志 —

北口 奏 (看45)



人はみんなこのような道を通って行くんだな」「自分も今、その道を歩み始めているんだな」と感じました。

6月の戴帽式が終わり、7月に夏の基礎看護学実習Ⅱが終わり、そして今、11月～12月の冬の成人看護学実習Ⅰが終わりました。

1年生の時に初めて戴帽式に参加し、すごく感動的で、来年は自分が蠟燭を手に持ち、あの壇上に立つのだと考えるとワクワクしてきましたの覚えています。それから、あつという間にその時が来ました。当日は緊張、不安、喜び、楽しみ：様々な感情が生まれてきました。神聖で幻想的な雰囲気の中、「これから看護師になるんだ」「看護の道を行く

が始まる2日前に交通事故で入院をしてしまい、皆と一緒に本実習を受けることができませんでした。入院中は患者の立場になり感じることがたくさんありました。その中でも一番印象に残っているのは、トイレに行く時は車椅子であったため、ナースコールで呼ぶことになっていましたが、看護師さんが忙しそうにしていてのをすごく感じナースコールを押すまでに時間がかかってしまいました。そのような感情はきっと他の患者さんも思っているのだなと思います。また、入院中に「今、みんな頑張っ

ているんだな。成長しているんだらうな。」と悲しくなりました。グループで話し合ったり、励まし合ったりしているところを想像したら寂しくなりました。テレビに出ていた芸能人を見ても「この人たちは、いつも通りの生活を送れているんだ。いいな。」とまで思うことがありました。入院していると社会から置いていかれている気がするということを感じました。

夏休み中に一人で補充実習に入った時は不安と緊張でいっぱいでした。付室で先生を待っている間も一人だし、何気ないことを相談する相手もないし、嫌だなあと思うこともありました。しかし、先生や、指導者さん、患者さん、友達、周りの人達に支えられ、そのような不安も乗り越えることができました。冬の成人看護学実習Ⅰでは、グループのみならず一緒に実習でき

るだけで嬉しくて、相談したり、悩みあったり、励まし合ったりすることが楽しく感じられました。これから3年生になる、今よりも看護に対する視野が広がり、深まるのだと思います。たくさん見て、感じて、聞いて、悩んで、成長したいです。看護師になってからも、成長し続けられる人でありたいと思います。そのために今の看護に対する気持ちを忘れずに知識、技術を確実につけて行きたいです。

「2回生の河津芳子さんが学術集會会長です」



看学2回生 河津(旧姓水野)芳子さんが、日本看護学教育学会第21回学術

集會長を務められます。河津芳子さんからのご挨拶  
来年度(平成23年)に開催される日本看護学教育学会第21回学術集會長を務めることになりました。

東京医大看学はやがて開校50周年！多数の同窓生の皆様が臨床や教育の現場で活躍のことと思います。

皆様のご発表、ご参加を心よりお待ちしております。

会期・平成23年8月20日

(火) 8月31日 (水)

会場・大宮ソニックシティ

(さいたま市大宮区桜木町)

テーマ・看護職の専門職者

としての成長(仮題)

プログラム・教育講演、シンポジウム、交流セッション等

尚、学術集會の詳細につきましては本年8月以降、日本看護学教育学会のホームページに掲載されます。

# 青木利津子元看護部長の 叙勲祝賀パーティ

阿部満子(看6)



男病院長、内科学第1講座  
大屋敷数馬主任教授の祝辞  
阿部公彦常務理事の乾杯の  
音頭で華々しくも和やかに  
進行しました。

同窓生の皆様お元気です  
か？東京医科大学病院に勤  
務している者の代表として、  
昨年引き続きうれしいニュー  
スをお伝えいたします。平  
成21年春の叙勲において瑞  
宝単光章を受章した青木利  
津子元看護部長の受章をお  
祝いする会が、平成21年9  
月29日、新宿京王プラザホ  
テルで盛大に挙行されまし  
た。

出のスライドショーでは、  
職場だけでなく、プライベート  
な時間でも医師やスタッ  
フたちと旅行したり、カラ  
オケをしたりという気さく  
なお付き合いが伺えました。  
ここで青木元看護部長の  
簡単な略歴を紹介しますが、  
青木元部長は昭和47年に看  
護師長として東京医科大学

病院に就任され、内科病棟  
整形外科病棟に勤務の後、  
昭和55年に副看護部長とな  
られてからは教育委員会を  
組織して現在につながる院  
内教育体制を整備されまし  
た。昭和56年には第1回の  
看護研究会を開催し現在に  
至っております。

自ら院内講師として看護  
師長や主任たちの教育を強  
化し、当時は合宿研修など  
も何度か体験しており懐か  
しい思い出です。平成4年  
に看護部長となられてから  
は看護部の組織化に力を入  
れ、現任教育や人材育成に  
力を入れてこられました。  
長い年月看護職に身をお  
き、既婚者として働く女性  
のモデルであったばかりで  
なく、退職されてもセカン  
ドキャリアとして介護審査  
員としての活躍、ボランティア  
で朗読をしたり、地域の  
イベントを企画したり多彩  
なことに取り組みお元気に  
活躍されています。

# ひろば

## 仕事楽しんでいきます

瀧本静子(別)

施設「元気な亀さん」を運  
営しています。

別科を卒業し、早や37年が  
過ぎました。昭和61年より病  
院勤務を辞め、主人と2人で  
施設運営をしております。利  
用者は老若男女、障害の有無  
年齢を問わず、利用したい人  
を大切に思っている家庭であ  
れば、どなたでも受入れてい  
ます。利用方法は、デイ、ショ  
ー、入所とあり、利用日、時  
間は365日、24時間、御家  
族の事情に合わせています。利  
用者数は、入所・デイ・合  
せて30人前後、スタッフは20人  
です。設立当初からモットーに  
していることは、高齢者に対  
しては、死の受容を家族にして  
もらい、残された人生をできる  
だけ輝いて生活してもらうこと  
です。スタッフはその為の対応を  
心掛けています。そんな中で  
私の役割は、毎日が元気で過  
せるように健康管理を医療機  
関と連携、家族との調整、ス  
タッフの指導―相手の言動(心

理)を理解する為の方法と対  
応。個々の健康の観察のポイン  
ト・問題が生じた時は問題点  
は何か、対策実行・問題のみつ  
け方―評価・反省はその都度  
声かけし、認識してもらう。  
利用者に生じた病気やケガ  
は、家族に連絡報告し、対応の  
希望があれば話し合い、本人に  
一番良い方法をし、家族も安心  
してもらうこと。本人・家族共  
に誠意を持って接すること。ス  
タッフには、最終全責任は我々  
が取るので安心して良い対応を  
してもらい、また働いてくれる  
ことに感謝をすること、これら  
を心掛けています。

## 卒業後の私

藤崎瑞枝(進2)  
(旧姓 北原)



同窓会の皆さま、進学科2  
回生の皆さま、お元気ですか。  
私は、卒業後5年間看護師  
として働いた後、結婚して25  
年が過ぎました。当時精神的、  
身体的に限界が来ていましたの



で、方向転換することにしました。『与えられたその場所を精一杯頑張ること』をモットーに、家事全般、地域との交流、その他もろもろの雑事をこなしているうちに、とうとう体を壊してしまい、今もその病を引きずっている次第です。それでも出来る範囲で頑張っております。

そんな中でゆっくりとした時間に『同窓会便り』を読んでいきますと、東京医大での様々な出来事が懐かしく思い出されます。そして看護に従事している人達の活気あふれる状況を読みますと、ただただ羨ましく感心するばかりです。一方家庭に入った人達は、家族を守る事に力を尽くしていることが見えて、勉強になります。

今回、20数年ぶりにクラスメイトだった下城さんから突然の電話でした。喜びもつかの間、『近況を書いてくれませんか』とのこと。頭の中が真っ白になったものの、『そろそろ順番かな』と観念しました。

最後に、68歳になってしまった私からですが、これ迄に細々と続けてきた油絵と茶道を細々と続けて行こうと思っております。

## 経験・宝物 上高千鶴香(進7)



昭和55年秋田から上京、入学、西1病棟で仲間に入れていただき進7回生として58年まで楽しい時代を過ごす事ができてから26年、昨日の事のように思えます。寮、西1、学校の往復で、大都会が怖くて街へ出られず2ヶ月経って初めて見た公園、皆、笑顔で優しかった先輩NsとDr方々、全てが新鮮で3年の臨床経験があった私には毎日がドキドキの連続でした。今は閉塞になった石神井の扇山ハイツから電車を通った1年間は夜中まで勉強して、いたはずなのにいつの間にか寝てベッドから落ち同室者を驚かせてしまった思い出。両親との約束で3年で帰郷したもの、臨床現場の実状に違和感を覚える数年でNsをやめ他の仕事を経験しました。医療以外の社会を見た事により徐々に『やはり看

護師をしたい』と思えるようになり戻ってからは北海道で暮らした15年になりました。6年前から洞爺湖畔内にある社会福祉法人の通所介護施設へ勤めています。ほぼ健康な高齢者、持病を抱えながらも在宅で週数回DSへ通い交流を楽しみに来所する方々を見て『世の中にはこんなに元気な高齢者が社会生活をしていたのか?』と驚かされたのです。その中で働いている私も元気をもらって毎日思うのは、精神的元気、肉体的元気な人と居ると周囲も元気になれるという事。それまでは消極的になりがちだった私が自然に声を出し笑い行動している事に気付いたのです。東医で学んだ看護の基礎、仕事に対する姿勢がその後の生活に影響し、その経験が今毎日お年寄りの方々と接している中で役立っています。経験は力なり。あの3年は私の人生を支える宝物なのです。この同窓会便りは毎回原点に戻る心を持たせてくれる宝物です。進7幹事の佐本さん、この機会を与えてくださり感謝しております。

この写真はDSでクリスマス越年会の衣装メイク中の49歳の私です。『カラーでお伝えできないのが残念です。』皆様、元気に楽しく人生を送って下さいませ。ありがとうございました。

## 私の近況

池田すみ子(看7)



同窓生の皆様、7回生の皆様お元気ですか。卒業して36年になり、西新宿の病院も周辺の様子もずいぶん変わりました。20年前は病棟の窓から富士山が見えて、心なごむ時もありましたが、今では四方とも高いビルに囲まれ、すっかり谷間の病院になってしまいました。次の新病院の構想も発表されていますが、きびしい経営状況の中で、これから10年くらいかかるのではないのでしょうか。病棟は26ありますが、あいかわらず若い看護師が頑張っています。変則三交替と二交替のところがありますが、だんだん二交替のところが増えていきます。私が入職した頃はようやく全体が2人夜勤になった頃でしたが、3人になり4人になったり、夜勤のきびしさはいつこ

## がんばりましょう

永渕仁美(看13)

13回生の皆様、お久しぶりです。私達は、あの当時「魔の13回生」ついでわけてましたねえ、あの頃がなつかしいとふりかえってみると30年という月日が流れてしまいました。



東京医大で副部長になっていた宮川さん(当時は江都ちゃんと呼ばれていました)をはじめ、いろいろな病棟、その師長主任になつてゐる同窓生は4、5人はまだ残つてゐると思つていますが、がんばつてますか?

去年の今頃は、今でも仲良し4人組で秋の京都にいったのを思い出します。写真立てにしっかりと紅葉をバックに若づくりました4人が写つています(写真がその時のものです)

それが半年もたたないうちにどういふことでしょうか、今は、湘南厚木病院という所で看護部長をしています。始めの3ヶ月は、戸塚から厚木迄、2時間近くかけて通つていましたが、それも体力的限界で、主人の協力のもと、単身で生活を始めました。

看護部長になりまだ5ヶ月しかたつていない新米ですが、受けてしまった以上は後にはひけませんのでなんとか心にむち?打つてがんばつてやっています。

世の中は自由↓民主へと政權交替をしますが、医療者我々にはどう影響があるのでしょうか。最近、ある施設で82歳で働いてゐる看護師がいるとききました。時間も短く、行う処置は決まつてゐるらしいですが、我々はいつ迄、働かなくてはならないのでしょうか。それは「命」ある限り、そして患者さんがいる限り、看護師の使命は続くのだと最近思つてゐます。皆さん、がんばりましょう。

### 「初挑戦」

定常裕子 (看19)



同級生の皆様こんにちは。19回生の皆様お元気ですか。看護学校を卒業してまもなく四半世紀が経とうとしています。

東京医大病院へは時々行くことがありますが、院内は改装されたり、懐かしの17階東病棟はなくなつてしまつたり、時代の移り変わりを感じています。

話は変わりますが、今年の7月に富士登山に初挑戦しました。以前から登りたいと思つてはいましたがなかなか実行できず、年齢的にも最後のチャンスだと思ひ決行しました。1年前から計画し、プールに行つたり、ジョギングをしたりと身体づくりに励みました。

今年には残雪が多く山開きの日には、八合目までしか行けないう状況でしたが、登山予定日の10日には頂上までOKとなりました。仕事を終え出発し、23時過ぎに須走口五合目駐車場に到着。0時30分から登山を開始しました。(ヘッドライトを装着し、身体をならしながらゆっくり登りました。七合目までは順調に進みましたがそこから大変でした。傾斜は急にきつくなり、風も強く、数分歩いて休まなくては前に進めない状態でした。が、何とか本八合目に到着しました。あいにく天気は曇りでご来光を見ることはできませんでしたが、明るくなると視界が開け、頂上も見え、距離的にはもう少

しなだけけど…。同行者が高山病になり、やむなく下山することにしました。8時間かけて登りましたがさすが砂走り、2時間半で下山できました。途中で断念したことを悔やみましたが、これも勇氣ある決断だと思ひ、絶対再挑戦しようと思ひました。登山した次の日は落石事故、数日後は遭難者あり、あの時無理をしなくてよかつたと思ひました。今回の経験を生かし来年頂上を目指します。誰か一緒に行きませんか?

### 私の近況

戸田さやか (看23)

(旧姓 日置)



皆様お元気ですか。私は看護学校卒業後、現在に至るまで20年間、東京医大病院で勤務しております。その中でも17年間という年月を人工透析センターで過してまいりました。

た。この経験を活かし、今後も透析の現場で長く働いていきたいと思ひ、昨年透析看護認定看護師の認定取得をしました。半年の研修で私にとって一番の宝となつたのが、少ない時間ではありましたが理論を学べたことです。日々の実践や体験や事実に対して、理論に沿つた判断基準が持てるようになったことは、今後透析看護領域で安定感を持つて仕事を続けて行くための礎になると思ひます。

一方私生活では、高校3年、高校1年、小学4年の3人の息子の母として、職場では決して出さないような大声を出しながら、逞しい母をやつております。未つ子はまだ甘えてきて可愛いのですが、高校生の2人はファッションにしろ、その行動にしろ、母親の私には理解できないところが多々あります。悩みの種は、未つ子の小学校のPTAや地域のサッカークラブの母親当番等の活動と仕事との時間のやりくりです。自分の時間が欲しいなあため息が出て、夫に八つ当たりすることも度々あります。多忙な毎日ですが、時に立ち止まって気分転換をはかり、自分の心身のケアをしながら、これからもゆつくりと歩いていきたいと思ひます。



各回生の幹事の皆様です。住所変更や名字が変更した時は必ず自分の回生の幹事の所へご一報願います。尚、電話番号は都合上掲載できません。同級生間で連絡をとり幹事の方へ連絡してください

### 東京医科大学看護専門学校同窓会幹事連絡網

学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名
第1回	...	第1回	...	第1回	...	第1回	...
第2回	...	第2回	...	第2回	...	第2回	...
第3回	...	第3回	...	第3回	...	第3回	...
第4回	...	第4回	...	第4回	...	第4回	...
第5回	...	第5回	...	第5回	...	第5回	...
第6回	...	第6回	...	第6回	...	第6回	...
第7回	...	第7回	...	第7回	...	第7回	...
第8回	...	第8回	...	第8回	...	第8回	...
第9回	...	第9回	...	第9回	...	第9回	...
第10回	...	第10回	...	第10回	...	第10回	...
第11回	...	第11回	...	第11回	...	第11回	...
第12回	...	第12回	...	第12回	...	第12回	...
第13回	...	第13回	...	第13回	...	第13回	...
第14回	...	第14回	...	第14回	...	第14回	...
第15回	...	第15回	...	第15回	...	第15回	...
第16回	...	第16回	...	第16回	...	第16回	...
第17回	...	第17回	...	第17回	...	第17回	...
第18回	...	第18回	...	第18回	...	第18回	...
第19回	...	第19回	...	第19回	...	第19回	...
第20回	...	第20回	...	第20回	...	第20回	...
第21回	...	第21回	...	第21回	...	第21回	...
第22回	...	第22回	...	第22回	...	第22回	...
第23回	...	第23回	...	第23回	...	第23回	...
第24回	...	第24回	...	第24回	...	第24回	...
第25回	...	第25回	...	第25回	...	第25回	...

### 同窓会幹事の係分担計画

(各係の役割)

1. 名簿係：同窓生の住所管理  
※総会で名簿発行は中止と決定。
2. 新聞係：毎年1月に同窓会便りを発行するための記事の依頼を担当する。  
※新聞係は、係として分担せず、右記の表にあるように「ひろば」の記事を自分の回生に依頼する。

(同窓会「ひろば」担当について)

同窓会便りの「ひろば」は会員の皆様の近況などをお寄せいただき、いつも楽しみにしていると好評をいただいているコーナーです。

これからもますます充実したコーナーにしていきたいと思っております。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮ではありますが、担当になっている年をご確認いただき、担当の幹事の方は、ご自分の同級生に原稿を依頼していただきたいと思っております。ご協力の程、宜しくお願いいたします。

#### ひろば担当

平成22年度		平成23年度	
別2	巻14	別3	巻17
別4	巻20	別1	巻18
進3	巻21	進4	巻25
進9	巻24	進8	巻27
進10	巻30	巻4	巻28
巻8	巻32	巻6	巻34
巻9	巻36	巻10	巻41
巻11	巻40	巻16	巻42

\*担当表について  
「ひろば」は、毎年16人位の方をお願いしていますので同級生から、16名の同級生の方に担当していただくことにしました。  
\*原稿等は幹事会の時に、担当の幹事の方にお渡しします。

### 住所変更の連絡先は

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-1-1 東京医大看護専門学校  
同窓会窓口担当 守屋みゆき  
TEL 03-3351-6141 (内310) FAX 03-3351-6162

### 同窓会寄付金にご協力を!

同窓会の運営費は、毎年卒業時に終身会費としていただく会費によって新われていますが、年々会費は増大するなかで、会報費、名簿刊行費、通信費、などの運営費用の捻出に困惑していくことが予想されます。

会員の皆様方に同窓会運営の現状を深くご理解いただき、是非とも寄付金を下記の内容でご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

**寄付金** 一口 1,000円 (一口以上でお願い致します)

**払込方法** 郵便局備え付けの払込用紙の通信欄に「寄付金として」と明記し、口数、金額を記入してください。

東京医科大学看護専門学校 同窓会

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-1-1

東京医科大学看護専門学校 同窓会事務局

### 平成20年度 会計報告

(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(収入)		(支出)	
項目	金額	項目	金額
平成19年度繰り越し	¥2,450,597	本部会費	¥600,000
22回生同窓会体身会費(1名)	¥10,000	同窓会便り	¥1,000,000
43回生同窓会終身会費	¥800,000	名簿(HP)	¥100,000
寄付金	¥3,000	印刷費	¥1,552,597
口座預金利息	¥3,191	合計	¥3,252,597
合計	¥3,266,788	支出	¥1,184,625

### 平成21年度 同窓会予算案

(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(収入予算案)		(支出予算案)	
項目	金額	項目	金額
前年度繰り越し	¥2,082,163	本部会費	¥600,000
同窓会終身会費	¥800,000	同窓会便り	¥1,000,000
口座預金利息	¥2,000	名簿(HP)	¥100,000
合計	¥2,884,163	印刷費	¥1,184,163
		合計	¥2,884,163

同窓会便り

同窓会便りの内容はホームページに掲載されています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

〒100-8302 東京都千代田区千代田1-10-1 東京医科大学看護専門学校 同窓会事務局  
TEL:03-3291-4611 FAX:03-3291-4612

Table with multiple columns containing names and addresses of alumni members.

# 東京医科大学看護専門学校 同窓会ホームページを更新 しました!!

同窓会副会長(ホームページ開設担当) 守屋 みゆき (香19B)

同窓会の皆様、御存じですか?本校同窓会では平成15年4月から、ホームページを開設しています!!

既に、活用をして頂いている同窓生もおられますが、まだ十分に情報が浸透していないという事もあり、この場を借りて再度PRさせて頂く次第です。

現在、多くの方が本ホームページに訪問して下さっています。また、ホームページ掲示板には懐かしい方の書き込みやそこから広がる回生を超えた同窓生のネットワークも広がりつつあります。住所変更登録用のフォーマットの活用も徐々に機能してきており、事務局の業務の効率化にも大変役立っております。

役員会では、今後ホームページの開設が本同窓会や母校の発展と活性化に繋がるように、時代や社会の流れに乗りつつ検討を重ね、ホームページとしての充実を目指したいと思っております。是非、皆様からご助言やご意見をお待ちしております。そして、一人でも多くの方に利用して頂ける賑わい本同窓会らしいホームページに成長していく事を願っております。

今後のホームページの継続運用については、引き続き活用状況と経費等についての見通しをも見据えて慎重に対処していく所存でございます。何卒、同窓生の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 住所等の変更は、住所変更フォームでの登録が便利です。事務局も効率的に動けます…ご本人からはもちろんクラスの幹事の方、是非ご利用ください!!
- 掲示板は、各クラス幹事の方、同窓生個人の方も諸連絡等で大いに活用してください!!

URLは <http://www.touikan.com>

## 『同窓会役員の募集』

第21回の幹事会で同窓会役員を全ての同窓生から広く一般公募することに決定。多くの方の立候補をお待ちします。随時募集中です。

- 【役員の条件】
- ① 役員会(東京医大病院で年間5~9回開催)に出席できる方
  - ② 母校の発展に寄与できる方

【連絡先】  
東京医科大学看護専門学校 同窓会事務局  
TEL:03-3291-4611 FAX:03-3291-4612